



愛と復興 只見町

議会だより

No.162

令和3年2月5日発行

2021 FEBRUARY



第1回TADAMIスキー教室開催

P10に関連記事

分かりやすく伝わる誌面に
なっていますか？



只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
←議会中継へ

議会報告会

多くの課題、多くの提案 …………… 2

渡部新町長 所信表明

将来に向かって行動するまちづくり…… 4

一般会議

女性目線で多くの意見 …………… 8

一般質問 11名が町政を問う…………… 11

多くの提案

議会報告会を11月29日三地区において「若者定住、子育てしやすいまちづくり」、「新しい議会に望むこと」の2つのテーマで開催しました。多くの町民の方からご意見、ご提案を頂きました。抜粋してご報告いたします。

只見振興センター 参加者24名

☆移住者・人材確保などについて

- U・Iターン者の情報窓口をつくり情報発信していけば、行政だけでなく町内企業でも情報共有ができ企業も人材確保や支援ができるのではないかな。
- 町内どの分野も人手不足、人材確保が急務である。行政と民間の人材確保には連携が大切だ。
- 町内建設業の従業員の高齢化が進み、除雪を含め、災害等があった際に町や住民を守っていけるか非常に厳しい状況だ。町はその辺をもっと認識し対策を考えるときではないかな。



☆空き家対策・定住対策について

- 空き家になる前に、登録して頂く工夫も必要ではないかな。
- 町内の空き家は沢山あるが、空き家バンクに登録されている軒数が少ない。
- 只見町に移り住む、お得感を感じられようなPRや改修補助の充実がもっと必要ではないかな。コロナ禍の中、都会からわが町への移住のチャンスではないかな。

☆公共施設利用等について

- 只見の森キャンプ場の住民利用の促進やブナセンターの活用をもっと工夫するべきだ。
- 若者定住住宅、3年間の入居条件では次へのステップが大変だ。要件の変更はできないかな。

☆診療所体制について

- 朝日診療所に専門医療はできないものかな。特に小児科、産婦人科など。医師体制を2人体制でなく拡充して欲しい。

朝日振興センター 参加者17名

☆若者定住について

- 若者定住には雇用の場が問題だ。町全体の経済をもっと伸ばすためには所得の向上が大切だ。
- 2年前にUターンしてきて思うことは、子ども・高齢者には教育・福祉といった面では手厚いが、若者に対する支援もして頂きたい。例えば、リスタート支援・婚活イベントなど。
- 最近、当地区で2軒の新築があり、若者が移り住んでいる。区としてもうれしいことだ。区の方にも空き家バンク等で入居・移住された方の情報を頂きたい。
- Uターンしてきて20年経つが、町にだんだん元気が無くなってきていると感じる。町としての定住に対する施策を教えてください。



☆教育問題について

- 中学2年の子どもがいて同級生が41名いる。只見高校の定員が40名となり、山村教育留学生も含めると、町内の子どもがあふれてしまうのではないか。
- 小学校統合の話が出ているが、どのように進んでいるのか。

☆その他

- 乳幼児に対する医師の確保をお願いしたい。
- 求人募集は出ているが、非正規職員が多い。
- 介護施設に努めているが、人材確保が課題だ。

明和振興センター 参加者30名

☆新しい議会に望むこと

- 税条例の中で、小さく困っている集落の固定資産税減免の規定を考えてほしい。
- 国は地方に非常に厳しい税率の問題を突きつけるがどうなのか。
- 町長提案に対して、議会として提案できる条例を作れないか。
- 行政と町民との双方向のオンライン化の推進、町内のデジタル化を図ってほしい。



☆若者定住、子育てしやすいまちづくり

- 地域の生活支援事業、買い物支援車の要請はどこからあったのか。
- 診療所の入院患者制限はいつ改善されるのか。
- Wi-Fi環境をもっと良くして欲しい。

☆その他

- 叶津番所の売買価格は適正であったのか。
- 特定空き家解体工事費は高すぎるのではないか。
- 年々厳しくなる町の財政だが、道の駅、JR只見線の運行継続には相当な財政負担が予想されるのではないか。

今後の議会の考え

3会場とも、今すぐ取り組まなくてはならない課題、町の存続が危惧されるような問題や意見が多く出されたことを受け、議会としては意見を整理し、各委員会等で今後の対応等について、協議していくことにした。

行動するまちづくり

渡部勇夫新町長 所信表明



あらまし

12月会議が22日から4日間の日程で開かれました。一日目は、渡部新町長が今後の町政運営に当たる所信を述べ、議会各常任委員長からは所管事務の調査報告を行いました。二日目は、11議員が一般質問を行ない、今後の町政運営の基本姿勢などを問いました。一般質問終了後、条例改正案や補正予算などの議案を審議し、提案された15議案すべてを原案通り可決しました。

1 みんなが住みたいと思う 魅力的なまちづくり

町内の産業の魅力を伝えるために、積極的なトップセールスを展開していきます。

ユネスコエコパークの魅力をさらに高め、広く発信すべく努めます。

2 誰もが安心して住めるまちづくり

朝日診療所の診療体制を立て直すとともに、訪問看護と訪問介護の連携強化と充実を図ってまいります。

暮らしに関する総合相談窓口の設置を始め、日常生活の支援体制づくりに努めてまいります。

議長コメント

「住民が参画できる、 開かれた議会を目指す」

議会議長 大塚純一郎

我が只見町は、人口減少、少子過疎高齢化に起因した様々な課題が山積しており、課題解決のための独創的な取り組みが求められています。二元代表制の一翼を担う議会としましては、通年議会制度を活用し、これまでも行政を監視、牽制するとともに、各般の提言を行なうなど、その役割を果たして参りました。今後も町民の皆様との繋がりを大切にし、より皆様の声に耳を研ぎ澄まし、その声を施策に反映していきたいと思えます。

今回の渡部町長の所信表明では、只見町の将来に向かって行動するまちづくりとして、5項目の政策目標を掲げられました。その政策を進めていくには町職員の理解と協力が不可欠であり、職員と共に作り上げた政策(案)を議会に提案したいと述べられました。今、まさに町民の目線に立った町政が真に問われる時代となりました。「住民が参画できる、開かれた議会」を目指し、町当局と議会が共に切磋琢磨し、共に協力し合い、「住み良い只見町づくり」のために努力して参ります。町民の皆様のご指導、ご支援をお願いいたします。

只見町の将来に向かって

3 関係人口(交流と定住の中間)を増やすまちづくり

只見町出身者や只見町を応援して下さる方々の声を、町づくりへ反映させるための提案、応援制度の創設とともに、町の総合案内機能と受け入れ態勢(物産販売等)の整備を急ぎます。



ふるさと大使 一生懸命只見のPR!

4 子どもがたくましく育つ、子育てしやすいまちづくり

子どもの健やかな成長を支援する事業を積極的に実施したいと考えております。



スキー教室

5 みんなに役割があり、活躍の場があるまちづくり

高齢になっても年金収入に上乗せできる仕事の支援づくり体制の構築を推進してまいります。



これらの政策を進めていくために、町職員の理解と協力が必要で、仕事にやりがいを感じながら成長できる職場づくりを心がけます。議会とは町の善政を競い合い、協力し合うことを意識しながら町政を運営する意味から審議の過程がより詳しく知って頂けるように努め、町民の信託に応えるべく導き出された結論を尊重し、住み良い町づくりに邁進してまいります。

速やかな

新型コロナウイルス ワクチン接種の準備

12月
補正

主な補正予算 (千円未満切り捨て)

新型コロナウイルスワクチン 接種の準備に係る経費

ワクチン接種が開始された場合に備えた
事務経費

471万円

町道改良工事費

蒲生北山線の一部法面の崩落による擁壁工

1000万円

榑戸集会施設整備費

新築工事費6000万円、
工事監理委託料400万円、
土地購入費260万円、備品70万円

6730万円

河川維持補修工事費

黒沢沢、倉谷川の護岸補修工事

4400万円

各会計において職員の期末手当の減額

11月会議の条例改正に伴い職員の期末手当を0.05月分
減額する。(会計年度職員は含まない)

808万円

討論が出た議案一覧 令和2年度各会計補正予算 (千円未満切り捨て)

| 会計名 | 歳入歳出予算 | 賛否 |
|--------------------|--------------------------|--------------------|
| 一般会計 | 2802万円追加 総額64億8908万円 | 賛成 9 反対 1(山岸議員) |
| 国民健康保険 施設特別会計 | 1600万円減額 総額3億9075万円 | 賛成 10 反対 0 |
| 介護保険事業 特別会計 | 325万円追加 総額7億6361万円 | 賛成 9 反対 1(山岸議員) |
| 介護老人保健 施設特別会計 | 21万円追加 総額2億8921万円 | 賛成 9 反対 1(山岸議員) |
| 地域包括支援センター 特別会計 | 総額1381万円のうち 2万円を科目更正 | 賛成 9 反対 1(山岸議員) |
| 簡易水道特別会計 | 総額2億375万円のうち 1万円を科目更正 | 賛成 9 反対 1(山岸議員) |
| 集落排水事業 特別会計 | 44万円追加 総額3億1744万円 | 賛成 9 反対 1(山岸議員) |

反対討論 山岸国夫議員 職員等の期末手当の減額に反対する。

* 上記賛否表の全議案酒井右一議員欠席

主な条例改正

職員の特殊勤務手当に関する 条例の一部を改正する条例

朝日診療所職員が新型コロナウイルス感染症に係る対応に従事した場合の特殊勤務手当支給に関する条例改正であり、患者の体に接触して、長時間にわたり接して行なう作業者に対して日額4千円を支給する。

* 他条例改正4本を可決

選挙管理委員会委員 及び同補充員の選挙

新しい選挙管理委員会委員 (任期は4年間)

- *舟木 和一 氏 (小林)
- *目黒 芳美 氏 (石伏)
- *渡部 純子 氏 (只見宮前)
- *渡部 克哉 氏 (福井)



同時に同補充員4名も選出されました。

みなさまからの 請願・陳情について

〈陳情の結果〉

| 陳情名 | 提出者 | 陳情内容 | 結果 | 理由 |
|---------------------|-------------|-------------------------------|----|--|
| 亀岡多目的広場の環境整備に関する陳情書 | 亀岡区 亀が島会 | 亀岡多目的広場の適正な環境整備のため自走式草刈機の購入要望 | 採択 | <p>地区民の高齢化や人材不足により、今後の事業継続が困難になる現状や、作業の効率を考慮し、自走式草刈機の必要性を認識し、採択とした。</p> <p>しかしながら、公共施設の環境整備に関する同様な問題は、当地区だけでなく全町的に考慮すべき事案であることから、広域的な対応を求める。</p> |

〈継続とした請願・要望〉

| 請願・要望名 | 提出者 | 内容 | 付託委員会 |
|---|---------------|----------------|-----------|
| 「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の送付を求める請願書 | 福島県教職員組合南会津支部 | 国機関への意見書送付 | 経済文教常任委員会 |
| 「地域の安全安心に関する要望」国土強靱化計画及び人材確保、持続可能な企業経営の為の支援などの9項目 | 只見町建設業協会 | 国県機関への働きかけ等の要望 | 経済文教常任委員会 |

女性目線で多くの意見!

只見町の観光政策



商工会女性部との一般会議

①道の駅建設について

- 道の駅は本当に必要なのか。24時間使えるトイレは駅前にすでにある。物産販売は、観光まちづくり協会や歳時記会館がある。
- 当地域は冬期間、農作物などの収穫はできないが販売物はどのくらいあるのか。どの位の販売を考えているのか。
- 道の駅の場所は、民家がないところが一般的である。国道289号(八十里越峠)開通を直前になぜ駅前が予定地の有力候補地なのか。

②観光全般について

- 只見線鉄道再開通を目前に只見駅はこのままなのか。改札からホームまで遠く雪道を歩くのは改善できないか。
- 只見駅を降りて、只見学検定ブックに掲載してあるところなど、色々なところを紹介したい。デマンドタクシーや周回バスの更なる整備が必要ではないか。
- 観光客の方にわかりやすく看板を国道沿いとかにも整備をお願いしたい「浅草岳登山口」「ただみの森キャンプ場」など。



道の駅整備イメージ図：国土交通省ホームページより引用

その他の意見



- 鳥獣被害や高齢化で農作物の収穫量が減っている。被害が続くと高齢者は作る事を辞めてしまう。
- インフルエンザの予防接種が無料になって良かった。ひとりで診療所まで行けない高齢者など集落ごとに接種できないか。
- 小児科などの医療の充実を図ってほしい。
- 空き家が増えているので、空き家対策を進めてほしい。

※いただいたご意見は、担当委員会に振り分けて調査を始めています。町政に反映できるよう町当局と議論を進めていきます。今後も町民の皆さんと忌憚のない意見交換の場として、一般会議の申し込みを受け付けております。

令和2年11月19日に商工会女性部の皆さんと一般会議を開催いたしました。「只見町の観光政策等について」をテーマに意見交換をして、集落や地域で起きている課題、心配事、提案など、女性目線で多くの意見が出されました。

※一般会議とは、議会への町民参加の機会とするとともに、町政の諸課題に柔軟に対処するため、多様な住民意見を聴取し、議会としての政策提案の拡大を図ることを目的としたものです。

委員会活動

総務厚生常任委員会

● 診療所の正常化に向け 更なる努力を

朝日診療所の新型コロナウイルス感染症対策について、発熱外来

の診察における院内感染防止対策の調査を行った。また、コロナ対応予算の執行状況、

朝日診療所の新型コロナウイルス感染症対策について、発熱外来の診察における院内感染防止対策の調査を行った。また、コロナ対応予算の執行状況、

保育料無料化に伴う保育所運営などを調査した。朝日診療所基本計画は、早急な成果が望まれるが、新型コロナウイルス感染症の対策と

その動向を踏まえ、より丁寧な「計画作成」を望むものである。診療所は依然として救急対応の不備などが続き、住民の不安を払拭でき

ないでおり、一刻の猶予もできない現状である。診療所医療の正常化に向け、当局の更なる努力を望むものである。



診療所内の感染対策

経済文教常任委員会

● 亀岡区からの陳情審査、 採択に

亀岡多目的広場の環境整備にあたり、自走式草刈機の購入の陳情であったが、地区民の高齢化や人材不足により、今後の事業継続が困難になる現状や、作

業の効率を考慮し、自走式草刈機の購入は妥当であるとの認識から、採択すべきものとした。しかしながら、公共施設の環境整備に関する同様な問題は、当地

区だけでなく全町的に考慮すべき事案であることから、広域的な対応を求めていく。

道の駅基本計画策定については、検討委員会の経過説明を受け、今後も調査を継続する。鳥獣被害対策については、その成果を確認し、次年度以降の有効な被害対策を調査することとした。



亀岡多目的広場での現地調査

議会運営委員会

9月会議以降12月会議までの間、議会運営委員会では下記の件について審議された。(抜粋)

- 各月会議の開催について協議
- 議会機能の充実強化について協議
- 請願・陳情付託について協議
- 各委員会所管事務調査報告について協議
- 各一部事務組合議会報告について協議
- 全員協議会の開催について協議
- 一般質問の通告内容について協議
- 議会提出議案について協議
- 委員会審査報告について協議
- 委員会継続審査・調査申出について協議

南会津地方 環境衛生組合議会

令和2年11月28日の臨時会において、当組合職員の給与に関する条例の一部改正で、福島県人事委員会による報告・勧告に基づき、期末手当の引き下げ（0.05月分）は、異議なく可決された。

補正予算では、歳入で台風19号に係る須賀川市の災害可燃ごみの処理が早期に終了する見込みとなったため、10月末の実績で4238万円のごみ処理手数料の減額。歳出で給与改定による期末手当の減額と災害ごみ処理にかかる電気料等の減額（331万円）、2号ろ過式集じん器の修繕費（3535万円）の増額が異議なく可決された。

（千円未満切り捨て）

南会津地方広域 市町村圏組合議会

令和2年10月19日消防本部及び各所の視察・研修が行なわれた。本部においては、主に新型コロナウイルス感染症に係る救急隊員の服装等について、各出張所、分遣隊所では経年劣化に伴う施設の老朽化等について説明を受けた。

11月28日の臨時会においては、広域市町村圏組合職員の給与の一部改正する条例であり、12月の期末手当について0.05月分の引下げをするものであり、これに係る補正予算が全会一致で可決された。

広報広聴常任委員会

- ①議会だよりNo.162号編集発行作業（2月5日発行）
- ②議会広報を通じて町民により分かりやすい行政内容、読んでみたくなるような広報誌の発行に努め取り組んでいく。
- ③町民の声を町政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいきたい。

一般会議募集のお知らせ

広報広聴常任委員会では町民の皆様からの様々な意見を聴き議会活動、町政に反映し、より良いまちづくりを考える場として一般会議開催の募集をしております。

テーマ テーマはまちづくりについてどのような事でも構いません、申し込みの際にお知らせください。

開催方法 日時・場所については皆さんの都合に合わせてご相談させていただきます。

申し込み方法 議会事務局へご連絡ください。（TEL 82-5300）

町民の皆さんと議会が一緒になりまちづくりについて話し合ってみませんか！

教育委員会主催の初めてのTADAMIスキー教室が只見スキー場で開催されました。初級、中級、親子のコースには、子どもから大人まで約50人の参加者があり、スキー場は今シーズン一番の賑わいでした。
写真はスキー教室の1コマです。初めてのスキー、お母さんもドキドキです。

第1回 TADAMI スキー教室



表紙の説明



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

*注 今回は2～4名が一緒に録画動画になっています。

ブナりん

一般質問

- 酒井正吉郎12
再生可能エネルギー事業の推進を
- 矢沢 明伸13
コロナ禍、今後の対策は
- 鈴木 好行14
紙オムツ等、求めやすい環境を
- 小沼 信孝15
鳥獣被害状況及び対策は
- 酒井 右一16
来年度の体制と医師確保の見通しは
- 三瓶 良一17
只見駅、駅前の整備を求める
- 菅家 忠18
資源ゴミのリサイクル推進を
- 佐藤 孝義19
新町長の町政に取り組む信念は
- 山岸 国夫20
介護保険料の軽減を求める
- 中野 大徳21
朝日診療所の現状及び今後の体制は
- 齋藤 邦夫22
八十里越道路開通後の対策を急げ

町政を問う

町を想い11名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

再生可能エネルギー 事業の推進を

答 とても大切な視点だと考えている



さか い しょうきち ろう
酒井正吉郎 議員

問 小水力発電に適する町内の有望地点を活用して、町内初の小水力発電所の建設を推進すべきと考える。町内には小水力発電に適した農業用水等の地点がある。これを利用して自前の発電に挑戦する団体等があれば支援する考えはあるか。町長の考えを問う。

答 現在、世界中の関心が環境問題やエネルギー自給向上、持続可能な社会構築に向けられており、その中で再生可能エネルギー

の普及拡大はとて大切な視点だと私も考えている。農業用水路の活用については、農業生産活動を行う上で最も重要な施設であり、併せて消雪利用などの生活にも利用されている。その活用について

は、区や農業受益者等の十分な理解・協力が必要であり、意思を尊重し対応する必要があると考えている。

問 町外の企業より只見町内の有望地点に、木質バイオマス発電所を建設したい

答 三事業者から問い合わせがある。進出企業には、企業立地用地の紹介や地元材



首都圏を支える只見の電源地帯

只見川河川整備 事業について

答 早期の整備は悲願である

問 只見地区において、南会津建設事務所から事業説明があったが、この事業内容について町としてどのように考えているのか。町長の考えを問う。

答 県の説明では、柴倉橋から常盤橋間の只見川左岸堤防の嵩上げ及び伊南川合

コロナ禍、今後の対策は

答 従来対策を検証し、継続し進める

問 国の第三次補正予算、今後の流れはどうなるのか、財源の繰り越しは可能か。

また只見町の支援策については地元産業など雇用の支援、確保などに重点をおく施策を進めてほしい。

答 国は第三次補正予算、今後の流れはどうなるのか、財源の繰り越しは可能か。

また只見町の支援策については地元産業など雇用の支援、確保などに重点をおく施策を進めてほしい。

答 国は第三次補正予算、今後の流れはどうなるのか、財源の繰り越しは可能か。

じ方式で取り組みたい。时期的にも年度後半になるので、繰越の措置ができる。

問 町内の事業所や企業等も新たな取り組みを進めている。県でも地域経済の活性化、雇用の確保を狙いとして補助制度を創設し、町内企業でも採択となったが、町としてどう考えるか。

町内の事業所や企業等も新たな取り組みを進めている。県でも地域経済の活性化、雇用の確保を狙いとして補助制度を創設し、町内企業でも採択となったが、町としてどう考えるか。

町内の事業所や企業等も新たな取り組みを進めている。県でも地域経済の活性化、雇用の確保を狙いとして補助制度を創設し、町内企業でも採択となったが、町としてどう考えるか。

町内の事業所や企業等も新たな取り組みを進めている。県でも地域経済の活性化、雇用の確保を狙いとして補助制度を創設し、町内企業でも採択となったが、町としてどう考えるか。

町内の事業所や企業等も新たな取り組みを進めている。県でも地域経済の活性化、雇用の確保を狙いとして補助制度を創設し、町内企業でも採択となったが、町としてどう考えるか。

答 町としても、雇用を守る大切なこと、町内の企業等でも新たな取り組みを進められる場合、町としても支援できるように取り組んでいきたい。

町としても、雇用を守る大切なこと、町内の企業等でも新たな取り組みを進められる場合、町としても支援できるように取り組んでいきたい。

町としても、雇用を守る大切なこと、町内の企業等でも新たな取り組みを進められる場合、町としても支援できるように取り組んでいきたい。

町としても、雇用を守る大切なこと、町内の企業等でも新たな取り組みを進められる場合、町としても支援できるように取り組んでいきたい。

町としても、雇用を守る大切なこと、町内の企業等でも新たな取り組みを進められる場合、町としても支援できるように取り組んでいきたい。

町としても、雇用を守る大切なこと、町内の企業等でも新たな取り組みを進められる場合、町としても支援できるように取り組んでいきたい。

必要でないか。

答 只見町の望ましい姿、目標を定めて、このような場等で議論を進めていくというところが最も大事であると考え、今後様々な分野、課題のなかで全てそういった姿勢で取り組みたい。

只見町の望ましい姿、目標を定めて、このような場等で議論を進めていくというところが最も大事であると考え、今後様々な分野、課題のなかで全てそういった姿勢で取り組みたい。

只見町の望ましい姿、目標を定めて、このような場等で議論を進めていくというところが最も大事であると考え、今後様々な分野、課題のなかで全てそういった姿勢で取り組みたい。

只見町の望ましい姿、目標を定めて、このような場等で議論を進めていくというところが最も大事であると考え、今後様々な分野、課題のなかで全てそういった姿勢で取り組みたい。

問

新型コロナウイルスの感染が拡大してきている状況で、町民に対して、感染対策の徹底と感染者の特定や誹謗中傷が生じないよう感染対策本部等からのメッセージが必要でないか。

新型コロナウイルスの感染が拡大してきている状況で、町民に対して、感染対策の徹底と感染者の特定や誹謗中傷が生じないよう感染対策本部等からのメッセージが必要でないか。

新型コロナウイルスの感染が拡大してきている状況で、町民に対して、感染対策の徹底と感染者の特定や誹謗中傷が生じないよう感染対策本部等からのメッセージが必要でないか。

答

診療所においてできる限りの対策、準備をしており、また誹謗中傷等のないやさしい町であるよう広報等でのメッセージなど取り組みたい。

診療所においてできる限りの対策、準備をしており、また誹謗中傷等のないやさしい町であるよう広報等でのメッセージなど取り組みたい。

診療所においてできる限りの対策、準備をしており、また誹謗中傷等のないやさしい町であるよう広報等でのメッセージなど取り組みたい。

診療所においてできる限りの対策、準備をしており、また誹謗中傷等のないやさしい町であるよう広報等でのメッセージなど取り組みたい。



のび あき ざわ や
議員 伸 明 矢

今後は一次二次の事業の経過、検証を踏まえ新たな施策の展開など従前と同じ方式で取り組みたい。时期的にも年度後半になるので、繰越の措置ができる。



感染防止対策のお願いの表示

紙オムツ等、 求めやすい環境を



すずき よしゆき
鈴木好行 議員

答 町内商店の活用を

問 公園の遊具等の老朽化が見受けられる。子育て世代のニーズに合った再整備が必要と思われるがいかがか。

答 現在町内3店舗で取り扱っている。子育てひろば等で情報提供していきたい。

問 乳幼児の紙オムツや粉ミルクの購入は町外や、ネットに頼っている現状だ。この現状をどのように捉えているか。

答 現在町内3店舗で取り扱っている。



大雪も子どもには遊びの場

答 平日や休日でも遊べる公園整備を今後研究、検討していきたい。

問 自然に恵まれた町で、子どもが自然を利用した遊び場が少ないと感じる。自然を体験しながら学び、遊べる場所の整備が必要と思われるがいかがか。

答 山や川で遊んだことのある指導者の確保を進め、子どもたちが自然に親しむ機会を増やしていきたい。

問 指導者は親や祖父母でも良いと思う。それよりも里山や河川敷の整備が必要と思うがいかがか。

答 様々な準備、安全対策をした上で検討したい。

問 保育料の無料化に伴い、新たな保育士の確保や、保育施設の整備をする考えはあるか。

答 今後の入所児童数の見込みを注視しながら、検討する。

交流人口増に向けた 最重要課題は

答 「関係人口」の増が最重要課題

問 八十里越開通やJR只見線の再開通を目前にし、交流人口を増やすための最重要課題は何か。

答 只見にルーツを持つ方々やふるさと納税の寄付者等との継続的な関係を築き、「関係人口」の増を最重要課題として取り組みたい。

問 人口減少に歯止めがかからない、この現状をどう捉え、打開していくのか。

答 只見町に定住しようとする若い世代に補助金を通じ、経済的支援を実施している。今後も取組むとともに子育て世代への支援等、町民のニーズを捉え、政策を推進する。

問 海外に向けた情報発信を充実させる政策は。

答 現在、海外向けのPR動画を作成し、YouTube配信している。今後はこの動画を様々な場面で活用し、情報発信に取り組む。

鳥獣被害状況及び対策は

答 パトロールは被害の未然防止につながった

問 8月からのパトロール「非常に有りがたい」の声が聴かれた、来年度は春から実施できないか。

答 今年度初めて、8月から10月の間103名のパトロールの出勤があり捕獲や追い払いの効果が有った。捕獲頭数についてはサル39頭、イノシシ13頭、ニホンジカ1

問 6頭、クマ49頭と被害防止、人的被害の未然防止につながったと思う。来年度の実施については捕獲隊と協議をしながら対策強化に努めたい。

答 今年度の被害状況、わかる範囲で教えてほしい。

問 サルについては只見町猟友会に委託し

答 町内各地で田んぼの畦が壊され人力での復旧が厳しく耕作を諦めざるえない話を聞く。何とか町として補修修繕に対する支援をすることはできないか。

問 イノシシの農地への被害が多く聞かれるが被害状況は掴んでいないのか。

答 イノシシによる水稲への被害額として340万ほど出ているが農地の被害は掴んでいない。

問 町もイノシシによる農地農業用施設の復旧支援を講じる必要があると認識している。

答 町もイノシシによる農地農業用施設の復旧支援を講じる必要があると認識している。

問 是非とも、耕作放棄などが出ないようにしっかりと支援して頂きたい。

答 額や率はともかく町として支援していきたいと考えている。

問 只見町克雪対策補助金の対象事業に屋根の塗装工事及び足場設置工事も付け加え作業者が安心安全な作業が重要と考えるが。

答 只見町克雪対策補助金の対象事業に屋根の塗装工事及び足場設置工事も付け加え作業者が安心安全な作業が重要と考えるが。

問 是非とも新年度から取り入れて頂きたい。

答 克雪対策補助金をさらに充実した事業にしていきたいと考える。



お ぬま のぶ たか
小沼 信孝 議員

克雪対策事業補助金交付要綱を見直してほしい

答 安心安全は重要と認識している



安心安全な作業を求めます

答 屋根塗装作業中の落下事故の発生からも安心・安全な作業環境の確保は重要

問 只見町克雪対策補助金の対象事業に屋根の塗装工事及び足場設置工事も付け加え作業者が安心安全な作業が重要と考えるが。

答 屋根塗装作業中の落下事故の発生からも安心・安全な作業環境の確保は重要

問 是非とも新年度から取り入れて頂きたい。

答 克雪対策補助金をさらに充実した事業にしていきたいと考える。

来年度の体制と 医師確保の見通しは



さか い ゆう いち
酒 井 右 一 議員

答 医師確保に向け努力する

問

診療所は今、救急患者の受け入れが制限されている。常勤医師の不足が原因と考えるが町民の不安は大きい。打開策を示されたい。なお、危機的事態であった看護師不足については解消しつつあり喜ばしい。またコロナ禍にある今日、とりわけ医療関係者の心身両面における負担や緊張、努力には心から敬意を払い感謝する。

答

看護師については概ね確保し、入院制限は撤廃できた。しかし、救急応需はまだ制限している。常勤医師が2名では止むを得ない。これまで通り県の担当部門と、民間の人材確保関係機関で公募し医師の応募を待っている。しかし、これに応募はまだない。

問

診療所の在り方について、議会の朝日診療所「調査特別委員会」調査報告が本会議で議決された。診療所は地域総合医療を推進することとされている。

この調査報告書は承知しているか。報告書では医師4名を常勤として家庭医療を推進していくことになっている。

答

読んだ記憶はあるが、詳細については承知していない。今後熟読し改めて見解を述べる。また過日、診療所の医師と懇談した。診療所の医療についてはなかなか町民の理解を得ることが難しい。「診療所で何ができて何ができないのか」、また「医療の内、一次医療を担う医療機関として診療所をどう運営していくか住民に周知していく。」

来年度の会計年度職員 任用要件と勤務態様は

答 法令を遵守し採用する

問

町職員の内、地方公務員法第2条の2第1項による任用職員の来年度の募

集要件と勤務態様について問う。

答

今年度採用職員を念頭に、来年

度はこれらについて応募があれば人事評価を加え法令を遵守し行なう。

知っておきたい
ポイント…!

本会議で委員会調査報告が議決されると何が起るの?

●地方自治法 “第三十八条の二”

町長は、町の条例、予算その他の議会の議決に基づく事務及び法令、規則その他の規程に基づく町の事務を、自らの判断と責任において、誠実に管理し及び執行する義務を負う。

只見駅、駅前 整備を求め

答 早急に取り組む

問 八十里越開通と
JR只見線の全
線再開通は、只見町と
奥会津地方に多大なイ
ンパクトと観光客の入
込みが期待される。駅、
駅前広場、役場付近を
早急に整備すべきだ。

答 八十里越開通と
JR只見線の全
線再開通を見据えた只

見駅前の整備は早急に
取り組む必要がある。
県、沿線自治体、関連
団体とともに再開通に
合わせてJR只見線を
最大限に活かせる施策
を講じたい。

問 JRは昨年も今
年も特別列車の
乗り入れを企画された。
只見駅は駅舎とホーム

が離れていて悪天候時
は問題だ。このような
駅は只見線沿線にはな
い。駅舎と駅前広場等
の一体的整備を進めて
もらいたい。

答 駅舎とホームが
離れていて不便
だという実態はそのと

おりだ。かつてJR側
から鉄道からバスに転
換する条件で改善計画
があった。技術的には
改善計画は可能だと受
け止めた。そうした整
備は必要だと思うので
取り組んでいきたい。



さん べりょう いち
三瓶良一 議員



改善が求められる只見駅

問 役場庁舎は町の
顔だ。八十里越
開通には役場庁舎を建
設してもらいたい。

答 役場庁舎につい
ては、合併当時、

知事勧告もあり条例で
雨堤1039番地に決
まった歴史も承知して
いる。現況は緊急避難
的な暫定移転と承知し
ている。

効果的な 少子化対策が必要

答 少子化対策は町の最大の課題

問 只見町にとって
少子化対策は喫
緊の課題である。若者
の定住、結婚、子育て、

教育等に効果的な少子
化対策が必要だ。他所
に出ていかずに町内で
自信をもって生活でき
るまちづくりをするこ
とだ。議会だよりに二
人の中学生が投稿した
ように町を思う純真な
心に行政も我々も応え
なければならぬ。

答 少子化対策は只
見町の最大の課
題である。若い世代へ
の経済的支援、青年交
流事業、雇用創出、経
営安定化支援、住宅取
得補助等新たに検討す
る。所信表明で述べた
ように子どもたちの姿
勢に学んで取り組んで
いきたい。

資源ゴミの リサイクル推進を

答 質問の経緯や視点、趣旨は受けとめる



菅 け家 ただし 忠 議員

問

只見町の子どもたちは、持続可能な社会を実現するという目標のもと、学び、実践し環境大臣に評価されるほどの素晴らしい成果を出している。隣町では民間事業者がリサイクルゴミ回収を実施しているが、当町では環境問題に進展がないように感じる。子どもたちが環境問題に取り組んでいる今こそ、自然首都・只見の名に恥じないよう資源ゴミのリサイクル推進が重要と考えるが。



世界中で取り組まれる環境問題

答

ゴミ処理については南会津郡内3町で組織しており、分別方法などの変更は協議が必要となるが、現状では古紙・ペットボトルの冬・夏季間の回収は難しい。隣町の取組みは、民間事業者が地域支援のため独自に設置しており、町は直接的に関与していない。リサイクルの対策は世界的な問題であり、町としても重要なことと考える。質問に至った経緯や視点、趣旨は受けとめている。

只見高校定員を 超える場合の対応は

答 暫定的な定員等の増加を検討する

問

現在の只見中学校2学年は41名在籍しており、現在の只見高校の定員40名を超えている。その学年が高校へ入学する令和4年度に、只見の子どもが入学できないのはという保護者から心配する声がある。

答

県教育委員会から定員を暫定的に増加させる等の柔軟な対応を図る旨の説明を受けている。過去の県内の事例では1学級48名まで増加させている。進路希望調査の結果を踏まえ、定員を大幅に超える場合には暫定的に学級数を増加さ

せることを検討する旨の回答を得ている。現在の40名定員に合わせて募集するのではなく、只見高校を志願する生徒の希望に応じて、暫定的な定員・学級の増加を図るべきものと捉えている。町の重要施策である高校振興対策の支援を、今後も県教育委員会に働きかけていく。

問

令和4年度の山村教育留學生の受け入れ人数は。

答

例年通り令和4年度も20名を募集したいと考えている。

新町長の 町政に取り組む信念は

答 みんなに役割があり活躍できるまちづくりを

問 町長として初めて担う町政をどのような信念で取り組まれるのか。

答 政策目標は「只
見町の将来に向
かって行動するまちづ
くり」が根幹であり、
住みよい、安心して住

める、関係人口を増や
す、子どもが幸せ、み
んなに役割があり活躍
できる、まちづくり、
体制づくりに取り組ん
でいく。

問 選挙中の公約の
中で訴えていた
ことで、町長の職務と
してすぐにも実行でき
そうな2点を問う。

まず、集落座談会に

ついては、毎年当初予
算編成前に予算に反映
できるように実施した
いと言われたが、高齢
化が進み、集落間でも
格差が生じている現状
から、各集落単位での
座談会は絶対必要と考
える。その際に、課長・
副課長等の同行が必須
と考えるが、いかがか。

答 提言のとおり、
町民各位の意見を
伺い町政へ反映させ
ることは大変重要だが、
現在は新型コロナウイルス
感染症の流行が拡大
していることから、
来年度に向けて課長等
の出席を前提に検討し
ていく。

問 次に、町長は「町
内すべての産業
の魅力を伝えるために、
積極的なトップセール
スをする」と言ってい
たが、私も、今の只見
町に一番欠けているこ
とだと思う。そのため
には、一日も早く、信
頼できる副町長を配置
して、町長が安心して、
町外でトップセールス
ができる、体制を整え
ることが重要と考える
が、いかがか。

答 積極的なトップ
セールスの展開
に向け、副町長配置な
どの体制づくりの提案
であるが、副町長につ
いては、しかるべき時
期にご提案したいと考
えている。



よし たか とう さ
義 孝 藤 佐
議員



集落座談会

介護保険料の 軽減を求め

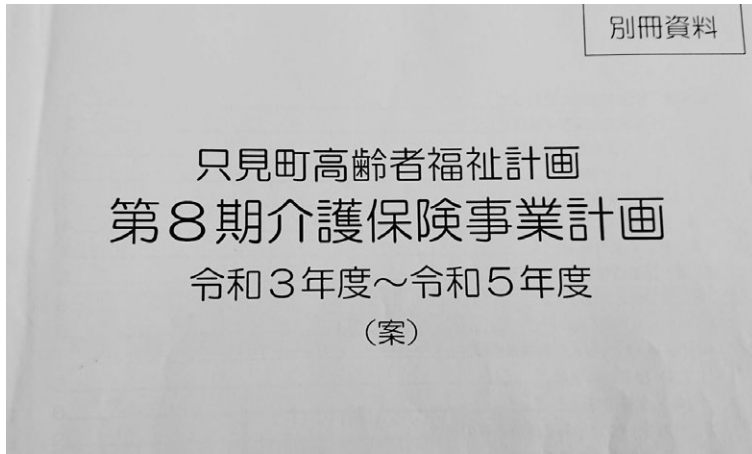
答 基金の有効活用で軽減に努める



やま ぎし くに お
山岸国夫 議員

問 介護保険料は、基準額で平成15年・第2期の年額35316円から第7期の年額70800円と約2倍になっている。国保税、後期高齢者保険料も引き上げられてきており、町民の生活はますます大変となっています。令和3年度から3年間の「第8期介護保険事業計画」の介護保険料については、町民に更なる負担を強いることのないように、負担軽減策をとることを提案する。

答 介護保険計画策定に着手しており、介護保険料の検討も行なっている。高齢者の所得は公的年金が中心であることから、介護保険料の水準が過重なものとならないよう配慮し、所得段階に応じた介護保険料を設定することで低所得者



第8期介護保険事業計画案

への負担軽減となるよう、所得段階を9段階に分けた介護保険料を設定している。介護給付費準備基金を有効に活用しながら介護保険料の軽減に努める。

問 一般会計から繰り入れし、介護保険料軽減を図る検討は。

答 国の指導で、認められていない。厚労省の指導であり法的拘束力を持たない。町民のく

問 今後の少子化対策・子育て支援策の進め方は

答 国は、小児科の要望が出され、産婦人科も若松まで行かなければならなく負担が大きいです。給食費の無料化や小学生の放課後対策などの方向性はどうか。

答 国は、小児科の要望が出され、産婦人科も若松まで行かなければならなく負担が大きいです。給食費の無料化や小学生の放課後対策などの方向性はどうか。

答 国は、小児科の要望が出され、産婦人科も若松まで行かなければならなく負担が大きいです。給食費の無料化や小学生の放課後対策などの方向性はどうか。

問 今後の少子化対策・子育て支援策を現状の到達をふまえ、どのように進めるのか。

答 子育て世代からえ、生きる力を育む取組を進める。

問 子育て世代からえ、生きる力を育む取組を進める。

答 子育て目標に向けた行政のあり方を検討。

問 子育て世代からえ、生きる力を育む取組を進める。

答 子育て目標に向けた行政のあり方を検討。

朝日診療所の現状及び 今後の体制は

答 町民の期待に応えるよう努力する

問

診療所の入院制限は解除されたが、常勤医は2名の状況であり、夜間の救急体制は診療所では受け入れ不可能な状況となっている。現状をどう捉えているのか。また、町民の安心・安全のため、24時間体制の救急患者の受け入れ体制が必要であると考える。

答

現在、新型コロナウイルス感染症の対応をはじめ、医師、看護師はじめ医療スタッフには、人材不足の中にあつて非常に感謝している。12月から入院制限をなくし、19床全て受け入れすることとした。24時間体制の救急患者の受け入れ体制については、同

じ認識である。現在、平日は午後8時以降、土日祝祭日は午後5時以降の救急患者の受け入れをしていない。これは常勤医2人に過重な負担をかけないためのものである。仮に常勤医の1人が体調不良になると、平成15年に無医村状態となった本町の二の舞となる可能性が高まる。あの状況だけは避けたいと思っている。救急患者の受け入れを元に戻すには、最低でも常勤医3人体制としていかなければならない。医師確保の先頭に立ち、全力で元に戻したい。

問

町長は、所信表明の中で朝日診療所に触れ「喫緊の課題「朝日診療所の体制を立て直す」と表現されている。また、一次

答

診療機関として、町民のかりつけ医として365日24時間体制で救急患者の診察を行なえる体制を復活させるという認識でよいか。

問

現在、総務委員会として朝日診療所基本計画の策定を求めている。1日も早く正常な状況を求める。町民は、期待している。

答

期待に応えるべく努力していく。協力をお願いする。



なかのたかのり
中野大徳 議員



一次医療を担う朝日診療所

八十里越道路開通後の 対策を急げ

答 拠点整備と地域の魅力化に努力



さいとうくに お 齋藤邦夫 議員

問

町長は所信表明で町政運営に当り民意の尊重を述べられているが、具体的な方策と決意を伺いたい。

答

毎年集落で座談会を開催、各界・各層の会合等、あらゆる機会に町民の声を聴き政策を立案し、議会に提案・審議を経て政策を深めていきたい。また、民意の反映については、私の政治姿勢としてぶれないで取り組んで行く決意である。

問

行政効率と町民サービス向上のため、職員能力を發揮して頂くには、町長等の権限委譲を図り、もっと職員が意欲と責任持って仕事に取り組める環境づくりが必要と考えるが。

答

行政運営する上で非常に大事なことと考える。職員の意欲を喚起するため、職員と率直な意見交換を行ない、人間関係を大事にして職員が自分の考えを提案できる環境づくりに努めていきたい。

問

国道八十里越開通で、本町の地域環境は大きな変革が予測され、地域課題に取り組むまたとない好機である。しかし、町内のインフラ整備や受け入れ環境整備は大変に遅れ憂慮される。その場しのぎの対処療法

答

国道開通は、町的な対策でなく、将来展望と計画性のある行政投資、更に積極的な対策が急務ではないか。

国道開通は、町の課題である人口減少対策、地域活性化対策を進めていく上でまたとないチャンスである。八十里越開通を見据えた新たなステージとして、越後・南会津街道のアピール性を高め、誘客ルートの幅を広げたい。この機を逃さず、国・県と連携した町内インフラ整備を進め、通過点とならないように拠点整備や地域の魅力化に努めたい。また、公共事業は時代とともに範囲も多様化し、担い手の確保、発注時期、平準化などの課題を踏まえ、当面する課題に対処するため、行政投資を積極的に取り組む時期と考えている。



交流拠点として整備が期待される季の郷湯ら里



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.26



アカシヨウちゃん

最近テレビや新聞等に出てくる
カタカナ用語について考えよう!!



イワッペ

只見町キャラクター ©Tadami



ブナりん 最近テレビとかで「エビデンス」とか「コンプライアンス」とかって良く聞くけどどういう意味なの?

議会議長 いい質問だね。テレビや新聞でよく使われているね。「エビデンス」というのは証拠、とか根拠という意味で使われているよ。「コンプライアンス」は規則や法令、社会的ルールを守ることなんだ。

アカシヨウちゃん その他にもカタカナ用語がたくさんあってわかりにくいね。



議会議長 そうなんだ。新しい用語がどんどん増えているので、私たちも勉強しながらやっているんだよ。それじゃ最近使われている用語について一覧にして一緒に勉強してみよう。

SDGs (エスディーゼズ)

持続可能な開発目標。国連で開かれたサミットで決められた、国際社会共通の2030年までに達成すべき17の目標のこと。

デジタル変革 (DX・デジタルトランスフォーメーション)

デジタルを使って新しい価値を生み出したり、仕組みを変えることによって、住民サービスの向上をめざすこと。

テレワーク

自宅や外出先など時間や場所にとらわれない働き方。リモートワークと同じ意味で使われる。

ワーケーション

ワークとバケーションをくっつけた造語で観光地やリゾート先でテレワークを活用して働きながら休暇をとること。

イノベーション

物事の「新しい捉え方」「新しい活用法」などのこと。

議会議長 まだまだたくさんあるけど、分からないときは又一緒に勉強しよう。

ブナりん 少し勉強になった気がする。ありがとう!



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



自然が多い只見町



で、一年生全員で恵みの森に行ったとき、道を歩いていたら、ブナやホオノキなどの木がたくさんありました。

只見中学校
1年 佐藤 優妃
私が思う只見町の良

いところは、自然が多いところだと思います。総合的な学習の時間

只見町の空気がきれいなのは、只見の木が二酸化炭素を吸ってくれているからだと思いました。その他にも、只見町には珍しい動物もいます。

魅力あふれる只見町の産業



只見小学校
6年 松永 紗弥

私たちは、総合的な学習の時間に「産業」について調べる学習を行いました。様々な産業

を取材していく中で、共通点に気が付きました。それは、水害などの被害にあっていること、その困難を乗り越えたことです。困難を乗り越えたこと自体もすごいと思いましたが、人と人が助け合って乗り越えた、心の温かさを感じました。自分が住む町の産業がこ

す。きれいな川もあります。

これからも、只見の自然を大切にしていきたいです。



んなに魅力的であることに気付くことができ、もっと只見町のことを、今までよりも大好きになりました。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は、春先から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により外出自粛や休校、経済の低迷等、不安を抱えた一年となっていました。世界中を翻弄している疫病は更に進化している様相を見せています。しかし、雲は流れ必ず青空がでる様に、困難な時代だからこそ「課題」を「施策」でスピード感を持って「実践」していく。新年を迎えて、そんな「町づくり」の一助となる様に更に努力していきますので、本年もよろしくお願いいたします。

(中野大徳委員)

発行責任者

議長 大塚純一郎

広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

委員 酒井正吉郎